

青学生が背負う借入額 33億4,149万円

これまで教職員の方から
2,555件のご寄付をいただきました。
(2016.4.1-2020.2.29累計)

実人数では全教職員の約32%にもなります。
皆さまからのご支援、心より感謝申し上げます。

? なぜ「寄付」が必要なのか

「寄付」というと、ハードルが高く自分とは馴染みのないことであると考える方がほとんどかと思えます。

所得がたくさんあり、生活に余裕がある人がするものという印象もあるかと思えます。

たしかに、一人の高額所得者が何千万円もの「寄付」をすれば、それで解決するかもしれません。

しかし、私たちは誰よりも学生の側にいて、ひたむきな姿を間近に感じている教職員のみなさんに、学生を支える「縁の下の力持ち」になっていただくと嬉しく思います。

その第一歩として、500円の「寄付」をしてみませんか？

寄付によって学生と教職員の心を形として繋いでいく。

そんなアクションを起こしてみませんか？



学生の現状

家計の収入の減少を背景に、学生生活を送るために奨学金を受ける学生が増加しています。

その中で約9割が返還が必要な貸与奨学金を受けており、大きな社会問題にもなっています。

2018年度、貸与型奨学金を受けている青学生は4,419人、借入総額**33億4,149万円**。学生は大きな負債を背負って社会に出ていくことになるのです。

今、貸与型ではなく給付型奨学金が求められています。

寄付が集まるとより多くの学生に給付型奨学金を支給することができます。



500円でサポーターになれます

500円の寄付が400名の方から集まると…

20万円 = 奨学金1名分となります。

思いを持つ事から、その先の行動へ。

みんなの力を合わせて、学生をサポートしませんか？

500円から、インターネット上にて簡単にご支援いただくことができます。
下記の決済方法が利用可能です。詳細は裏面をご覧ください。

大学生の場合…

給付額は授業料の**4分の1**

2018年度

学生1人当たり平均支給額 : 約22万円
1年間の全学部平均授業料* : 約86万円

授業料
86万円

給付型奨学金

22万円

1/4

平均支給額は授業料の4分の1。
寄付により支給額を増やす事ができると、
学費の為にアルバイトに費やす時間を、勉強や課外活動など充実した時間に充てる事ができます。

お申し込み方法

クレジットカード
決済

インターネットバンキング
決済(ペイジー)

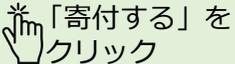
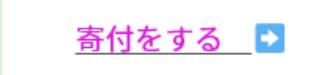
ATM
決済(ペイジー)

コンビニ
決済

R Pay ポイントが
貯まる!使え!

amazon pay

①クレジットカード・楽天ペイ・AmazonPay

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
 <p>インターネットサイトにアクセス</p> 	 <p>「寄付する」をクリック</p>  	 <p>寄付の種類を選択</p> <p>寄付の種類：万代基金 金額：500円 メッセージ/通信欄： 「2020教職員の力」と ご入力ください。</p>	 <p>必要事項を入力！</p> <p>お支払方法、お申込み情報を入力し、内容をご確認後…</p> <p>完了！</p>

②コンビニ支払い

コンビニ支払いをご希望の方は、学院連携本部まで下記の内容をメールにてご連絡ください。

学院連携本部からの返信メールにて同意いただき、当部で支払情報登録後、学内のセブンイレブンでのお支払いが可能です。

- 1 氏名(フリガナ)
- 2 生年月日
- 3 ご住所
- 4 お電話番号
- 5 お申込金額(500円)
- 6 芳名録への掲載の可否(可・否)

この募集は、青山学院万代基金の給付型奨学金(フィナンシャル・エイド)と教育研究資金(AOYAMA VISION)の充実に資することを目的として、校友、保護者、教職員、お取引先などすべてのステークホルダーの方々に広く年間を通じて常時ご支援いただけるようご案内するものです。なお、寄付金の対価として、何らかの利益または便宜供与を条件とされる場合は、ご寄付の受領を辞退させていただきますので、ご了承ください。